

■ 建設の五大原則

硬質地盤クリア工法は、「建設の五大原則」をバランスよく満たした工法です。



いかなる建設工事も、国民から見て公正で妥当なものでなければなりません。当社では、国民の視点に立った建設のあるべき姿を、環境性、安全性、急速性、経済性、文化性の五つの要素に集約してこれを「建設の五大原則」と定め、機械・工法開発の原理原則としています。

環境性 工事は環境に優しく、無公害であること

- 静荷重による圧入方式のため、騒音や振動などの建設公害を発生させない
- 圧入機本体は軽量・コンパクトであり、工事の影響範囲を最小限にとどめる
- システム施工技術により仮設工事を一掃し、環境負荷を極小に抑える
- オーガ掘削は最小限に抑えるため、排土量は極めて少なく環境に悪影響を与えない

安全性 工事は安全かつ快適で、工法自体が安全の原理に適合していること

- 完成杭をしっかりとつかむ機構のため、圧入機本体は小さく転倒の危険性がない
- オーガと杭は独自のチャッキング機構で固定されており、高い安全性を保持
- 操作はラジコンで行うため、安全な場所から操作

急速性 工事は最短の時間で完了すること

- システム化した機械・装置で合理的な施工ができるため、工期を大幅に短縮
- コンパクトな機械・装置なので、複数機を同時に投入して工期を大幅に短縮
- 規制の厳しい地域や夜間でも、工事時間帯の制約を受けずに急速施工

経済性 工事は合理的で新奇性・発明性に富み、工費は安価であること

- 機械・装置のシステム化で仮設工事を一掃し、工費を大幅に削減
- システム化された工法のため現場作業者は最少人員で済み、経費を削減
- コンパクトなシステムのため、交通渋滞などで都市機能を麻痺させない

文化性 工事は高い文化性を有し、完成物は文化的で芸術性に溢れていること

- 現場条件に最適の機械・装置によりスマートな施工を実現
- 杭表面に化粧材を施すことで、景観と調和した文化的な構造物を構築
- 圧入原理の優位性により、高精度・高品質の美しい壁体を構築



施工中

完成後